





役員退任挨拶



退任にあたって

品質向上への姿勢が印象的でした。一九七二年には、保険診療が実現しました。眼底検査を基本診療にするのか、汗をかきました。

故芥川徹先生が、一九六〇年代半ばから、「口帰り白内障手術」に取り組みました。ご苦労が偲ばれます。これが先駆けとなり、現在の眼内レンズ方式の「口帰り白内障手術」へ変遷し、在宅医療の中核となったことに、感動を覚えます。

私は、一九六一年・国民皆保険制度確立後の第一世代ともいえるべき、恵まれた環境で育ってききました。幸せなことでした。また、今年から涙道・眼瞼疾患などの手術が導入されたことは、まさに画期となりました。本院を中心に、四診療所における常勤医体制確立、看護師は言うに及ばず、視能訓練士就任・事務専門職化など、質の高い地域医療の確立を目指しました。

基幹病院で診療を支えて頂きましたみなさんには、心より感謝申し上げます。

組合員関連では、これも中野先生が心血を注い



若い頃からお世話になってきた中野信夫先生、山田亮三先生に少しでも恩返しができるのなら、役員就任をお引き受けしておきながら、何んのお役にも立てないままのこの六年間に忸怩たる思いでおります。そんな小生にあたたかいご支援をいただきました医療生協の役員はじめ組合員の皆様、中野眼科の職員の皆様に感謝と惜別の気持ちでいっぱいです。今後は一患者としてお世話に



五十四年前、新聞記事の採用欄を見て、中野眼科の採用面接を受けました。

お会いして、まず「恐い！」という印象を受けた中野先生。

中野眼科に採用していただき、中野先生と接する中で、眼科医療の向上を目指し、その思いを後世に伝えるべく、厳し



（大森俊次）

なりますので、未長くよろしく願います。

止・経営確保など、試練の時ですが、大いに前向きに対応できていることは、特筆に値します。

総代のみなさん、組合員のみなさん、「百まで生きよう会」のみなさん、現場で活躍いただいている、医師をはじめと

宮本和明理事長のもと、新理事／監事のみなさん、よろしくお願いたします。（山田亮三）

い姿勢で我々職員に臨んでいただいているということが理解できるように

た。創設者の中野信夫先生が眼科を生協組織での運営にされたことも驚き

中野先生の思いを、同僚と共有し、後輩に伝えることを念頭に置いて過ごした日々だったように

個人の経営の眼科ではなく生協組織であることの意味をいつも考えてきました。トップのワ

役員、諸先生、職員の皆様方に支えられ、何とか歩むことができた

中野信夫先生からはたかさんの事を学び、教えて頂きました。平和への強い思い、批判精神、経営戦略など超人的な先生

お会いして、まず「恐い！」という印象を受けた中野先生。

中野眼科に採用していただき、中野先生と接する中で、眼科医療の向上を目指し、その思いを後世に伝えるべく、厳

（馬場恵津子）

「医療生協組合員集會」や「百まで生きよう会」などで学習会や文化活動などが取り組まれ、学ぶことの楽しさも実感させていただきました。イン



著者は高名な写真家。戦後日本の人々の暮らしや民俗行事などを記録し続けた。同書は昭和三十七年刊行の新書の復刻版です。

『秘境旅行』

芳賀 日出男 著

昭和三十年代の高度成長期。社会が大きく変貌する中、著者は国境の町納沙布、二千人の海女が夏を過ごす孤島の船倉（へぐら）島、

深山の木地屋の村、四国の最果ての漁村や白衣の巫女の沖繩の島などを二日かけて訪ね、そこで生活して写

ターネットなどでたくさん情報があふれている中で、以前のような取り組みは難しい時代になっています。（友藤弘子）

お知らせ 組合員の除籍等について

組合員の除籍等が、第七十三回総代会で承認されました。二〇二〇年三月三十一日以前に加入した組合員の

三十一日付で別管理組合員としたのち、この二年間に利用のなかった組合員を

一斉休診のお知らせ

本年八月十五日（土）・十六日（日）は、すべての中野眼科診療所でお盆一斉休診とさせていただきます。

中野眼科ご利用の患者さんへ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手指消毒とマスク着用をお願いします。

総代さん・組合員さんからのお便りコーナー



「最近はじめばかりのお絵かきです」と、総代 A さんより投稿いただきました。

総代さん・組合員さんからの投稿をお待ちしております。

京都医療生協事務所までご連絡ください。（☎ 822-2286）



三十年前、京都生協や大学生協などの購買生協しか知りませんでしたので、京都に医療生協があることはじめて知りまし

保険で良い医療を

新型コロナウイルスの波を受けながらも医療機関としての責務を果たし続けられるかどうかが問われています。